

ト勉強会(隔週、朝7時から45分程度)レジデントによる個別発表研修発表会(毎年5月:研修終了予定者)

(5) 研修評価

- ・ 評価体制(図4 参照)
- ・ 評価方法

* 検査・治療など診療において「主治医として患者に接すること ができるか」を目安とした目標(5)を設定し、絶対評価とする。

* 3以上を合格とし、2以下は不合格。

D. 考察

レジデント制度発足後、13年を経過した現在幾つかの問題点が挙げられる。地方がん診療専門施設として知名度が十分でないためか、採用に際して応募が少なく、定員割れを来たすことがある。対策としてはさらにレジデント制度を充実させ、地方がん診療専門施設においても十分な研修を受けられることを周知させることであろう。具体的には指導医の質・量を一定水準以上に保つことが必要である。その際、学会指導医・臨床試験参加資格制度などとの整合性も視野に入れる必要がある。レジデント研修項目として何が必要か?という命題もさらなる検討が必要であろう。対象医師を卒後初期研修を修了した3年目以降を想定した場合、当院において外科系では手術症例数・学会発表・論文作成などほぼ満足すべき研修が行なわれている。しかし、内科系、特に消化器腫瘍内科レジデントは今まで1名の研修修了者であり、その研修に際しても腫瘍内科専門医が指導する状況を当時は設定できていなかった。全国的に腫瘍内科専門医の充足が不十分である状況が反映されているのであろう。対応策の一つとしてがん診療専門施設間での短期交流なども考慮される。研修項目の検討と平行し、研修評価において絶対的研修到達目標を置く事で施設間の格差を埋める一手段となり得るであろう。

E. 結論

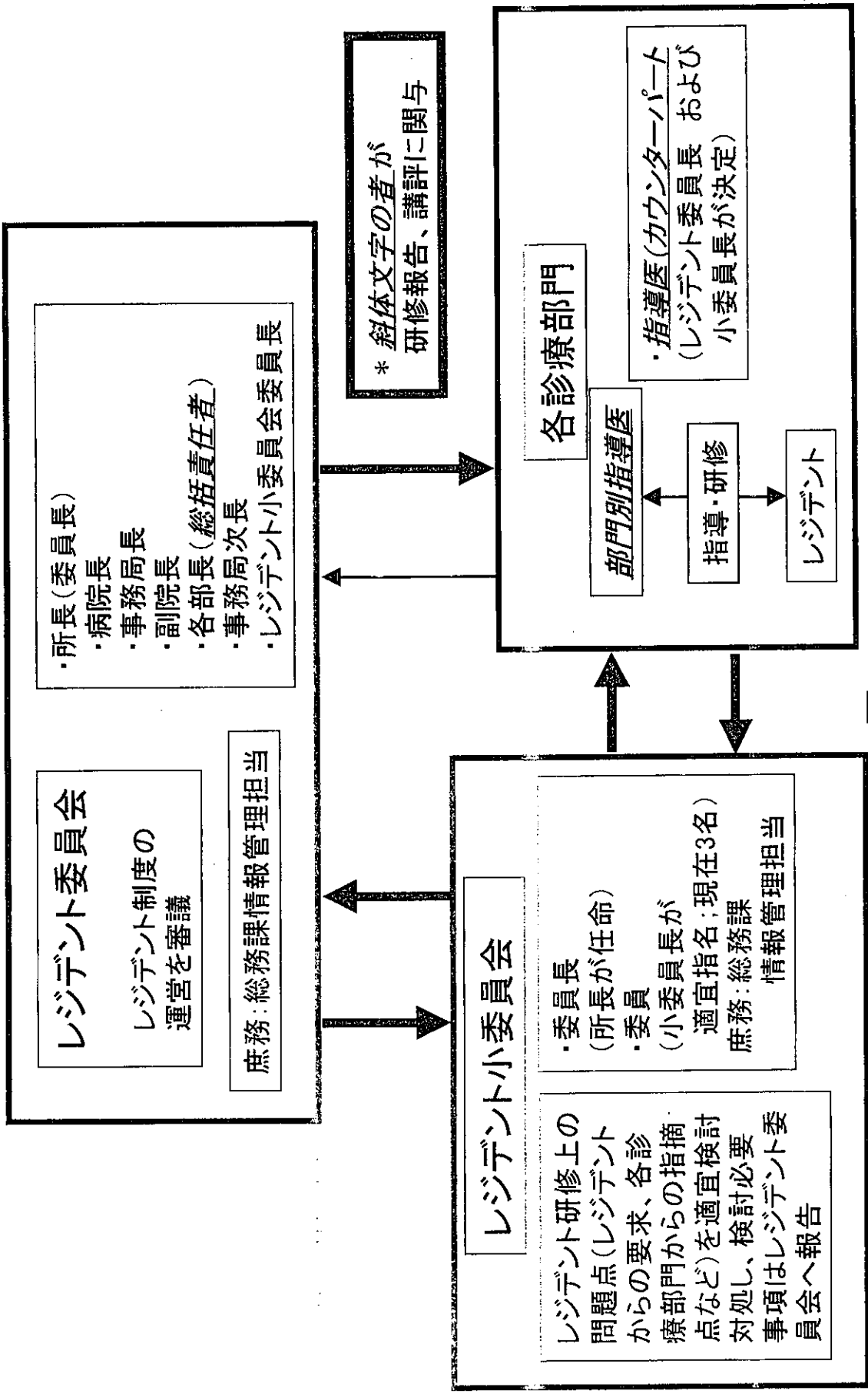
地方がん診療専門施設におけるがん医療教育の現状と問題点を検討した。その結果、腫瘍内科専門医(消化器腫瘍内科)の元での

研修体制を確立する必要性が認識された。

論文

1. H.Shimizu, Y.Ogata, H.Miyata, S.Katano, I.Tsukiyama. Consideration for Informed Consent in Patients with Thoracic Esophageal Carcinoma. Recent Advances in Diseases of the Esophagus. Proceedings by Monduzzi Editore S.p.A. : 361-366, 2001.
2. 築山巖、片野進、清水秀昭 他. 食道癌に対する温熱同時併用密封小線源治療の臨床的研究. 日放腫会誌 : (12) 371-377, 2000

レジデント制度 院内機構



ローテーションシヨシヨシ(例)

●3年コース(消化器・一般外科)

6月

10月

2月

1年目	画像診断	病理	呼吸器外科
-----	------	----	-------

2年目	消化器・一般外科		
-----	----------	--	--

3年目	消化器・一般外科		
-----	----------	--	--

●3年コース(腫瘍内科)

2月

1年目	血液内科	消化器・一般外科		
2年目	放射線治療	画診(し線)	病理	画診

9月

1月

5月

3年目	(内視鏡)	消化器・一般外科(胃・乳腺の化療症例担当)
-----	-------	-----------------------

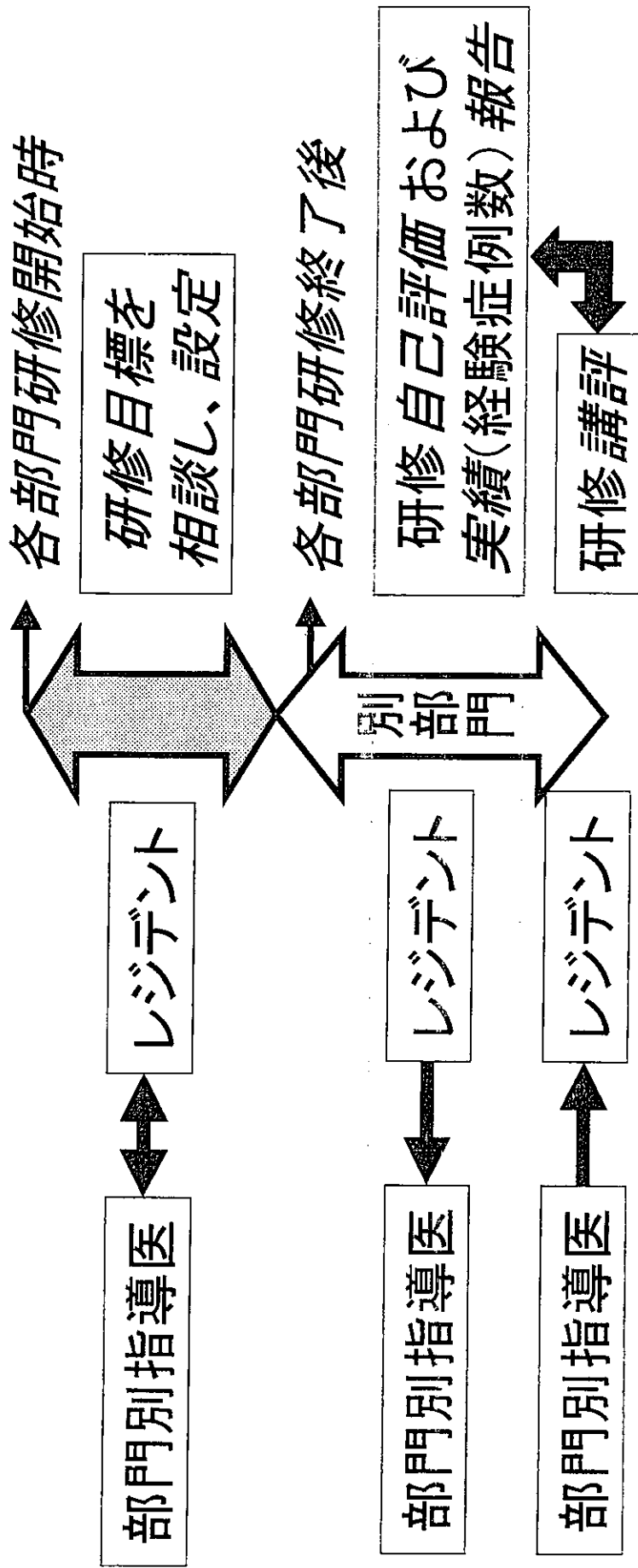
手術経験数

3年コース 2年コース

術者 (n=9) 助手 (n=8) 術者 (n=9) 助手 (n=7)

乳腺	17(37-8)	44(98-25)	11(19-3)	19(30-8)
胃	21(30-10)	53(93-22)	14(20-9)	24(39-17)
大腸	18(41-7)	46(107-10)	9(14-6)	20(30-5)
合計 (その他含めて)	68(104-37)	---	41(57-25)	---

評価体制



全部門研修修了後は事務局から、各部門での報告および講評を
カンターパート医師・指導責任医師に提出し、全研修に対する
講評を得る。
それらを資料としてレジデント委員会で研修修了証書を交付する

の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻名	ページ	出版年
Gotoda, T., Katai, H., et al.	Evaluation of the necessity for gastrectomy with lymph node dissection for patients with submucosal invasive gastric cancer	British Journal of Surger	88	444-4449	2001
Yamaguchi, T., Katai, H., et al.	Node-positive mucosal gastric cancer: a follow-up study	Jpan J Clin Oncol	31(4)	153-156	2001
Fukagawa, T., Katai, H., et al.	Immunohistochemically detected micrometastases of the lymph nodes in patients with gastric carcinoma	Cancer	92(4)	753-760	2001
Goto, H., Sone, S., et al.	Interferon γ -dependent induction of thymidine phosphorylase/platelet-derived endothelial growth factor through γ -activated sequence-like element in human macrophages.	Cancer Res.	61	469-473	2001
Nishimura, N., Sone, S., et al.	Enhanced efficiency by centrifugal manipulation of adenovirus-mediated interleukin 12 gene transduction into human monocyte-dendritic cells.	Human Gene Therapy	12	333-346	2001
Parajuli, P., Sone, S., et al.	Humanized anti-ganglioside GM2 antibody is effective to induce antibody-dependent cell-mediated cytotoxicity in mononuclear cells from lung cancer patients.	Cancer Letters	165	179-184	2001
Nokihara, H., Sone, S., et al.	A new quinoline derivative MS-209 reverses multidrug resistance and inhibits multiorgan metastases by p-glycoprotein-expressing human small cell lung cancer cels.	Jpn. J. Cancer Res.	92	785-792	2001
Nishioka, Y., Sone, S., et al.	Human monocyte-derived and CD83+ blood dendritic cells enhance NK cell-mediated cytotoxicity.	Eur. J. Immunol.	31	2633-2641	2001
Kozu, T.	実地医科・研修医・医学生のための新・図解日常診療手技ガイド 医療面接の心がけと医師のマナー	Medical Practice	18 (臨時増刊号)	2-4	2001
Ichinose, Y., Tsuchiya, R., et al.	Prognosis of non-small cell lung cancer patients with positive pleural lavage cytology after a thoracotomy: results of the survey conducted by the Japan clinical Oncology Group.	Lung Cancer	32	37-41	2001
Takagi, K., Tsuchiya, R., et al.	Surgical approach to pleural diffuse mesothelioma in Japan	Lung Cancer	31	57-65	2001

の刊行に関する一覧表

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻名	ページ	出版年
Ichinose, Y., Tsuchiya, R., et al.	Prognosis of resected non-small cell lung cancer patients with carcinomatous pleuritis of minimal disease.	Lung Cancer	32	55-60	2001
Sagawa, M., Tsuchiya, R., et al.	Segmentectomy for roentgenographically occult bronchogenic squamous cell carcinoma.	Ann Thoracic Surg	71	1100-1104	2001
Okumura, T., Tsuchiya, R., et al.	Intrapulmonary metastasis of non-small cell lung cancer: A prognostic assessment.	The Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery	122(1)	24-28	2001
築山 巖、清水 秀昭、他	食道癌に対する温熱同時併用密封小線源治療の臨床的研究	J Jpn Soc Ther Radiol Oncol	12	371-377	2000

2002年2月12日

厚生労働科学研究「健康危機管理情報の網羅的収集と評価に関する研究」
研究班検討事項

主任研究者

緒方裕光（国立保健医療科学院）

1. これまでの検討事項

- 1) データベースの内容
- 2) 検索方法
- 3) 意見交換の方法
- 4) システムのハード面
- 5) 地方衛生研究所ネットワークとの関係
- 6) 全国保健所長会との関係
- 7) 化学物質、感染症などの健康危機管理の現状
- 8) 既存ネットワークとの関連

2. 稼動開始時点で実現可能な事項

- 1) 各分野における関連機関のデータベース
- 2) 既存の主な事例集、マニュアルなどの収載
- 3) データベースおよびリンク先の横断検索
- 4) 情報交換（フォーラム）
- 5) 既存データベース、関連機関サイトなどとのリンク
- 6) 準専門家の登録

3. 今後の主な検討課題

- 1) 収載情報（事例集、報告書、新聞報道、マニュアルなど）の評価、選別
- 2) 専門家情報の取り扱い
- 3) フォーラムに関するルール作成
- 4) 健康危機管理体制の評価およびチェックリスト
- 5) ハザードマップ
- 6) 教育訓練、シミュレーション
- 7) 危機発生時の情報発信

20010528

以降のページは雑誌/図書等に掲載された論文となりますので
「研究成果の刊行に関する一覧表」をご参照ください。